

令和4年度 甲府市社会福祉審議会

第1回地域福祉専門分科会

議 事 録

甲府市福祉保健部総務課

令和4年度甲府市社会福祉審議会  
第1回地域福祉専門分科会議事録

開催日時：令和4年8月25日（木） 午後2時～

場 所：甲府市役所本庁舎6階 大会議室

出席委員：丸山正次会長、山田文夫委員、佐藤一男委員、浅利勝往委員、高野智代子委員、  
根津宏次委員、雨宮正夫委員、山田弘之委員、藤原静委員

欠席委員：戸田知委員、櫻原健委員

担当課：【甲府市社会福祉協議会】

萩原地域福祉推進課長、向山ボランティア振興課長、山本課長補佐

【福祉保健部】

久保田福祉保健部長、望月福祉保健総室長

事務局：近藤福祉保健部総務課長、保坂総務課計画係長

傍 聴：なし

---

【臨時委員委嘱状交付式】

- 1 開式
- 2 委嘱状交付  
臨時委員5名に委嘱状が交付された。（1名欠席）
- 3 福祉保健部長あいさつ
- 4 閉式

【甲府市社会福祉審議会第1回地域福祉専門分科会】

- 1 開会
- 2 地域福祉専門分科会概略説明
- 3 会長選出
- 4 会長あいさつ
- 5 議事  
(1) 地域福祉推進計画に関する事業の進行管理及び評価について  
(2) いきいきサロンについて
- 6 閉会

○事前配布資料

資料一1 令和3年度数値目標設定事業実施状況（地域福祉推進計画）

資料一2 令和4年度甲府市社会福祉審議会第1回全体会における評価（意見）

○当日配布資料

当日資料一1 甲府市社会福祉審議会の概要

当日資料一2 甲府市社会福祉審議会条例

当日資料一3 甲府市社会福祉審議会運営要綱

- 当日資料一4 甲府市社会福祉審議会地域福祉専門分科会運営要領
- 当日資料一5 甲府市いきいきサロン年度別延べ参加人数及びサロン設立数
- 当日資料一6 「いきいきサロン」に関するアンケート結果
- 当日資料一7 平成30年度甲府市アンケート結果問い合わせ状況
- 当日資料一8 令和3年度すこやか地域サポーター養成講座  
委員名簿

## ◆会議の内容◆

### 1 開会

### 2 地域福祉専門分科会概略説明

事務局より、当日資料1～4により地域福祉専門分科会概略説明を行った。  
(質問・意見なし)

### 3 会長選出

委員の互選により、丸山委員が会長に選任された。  
(職務代理については、次回の会議までに会長より選出していただくこととした)

### 4 会長あいさつ

#### 【会長】

最初ですので、少しだけ解説をさせていただきたいことがあります。当日資料1の所掌事項を見ていただきますと、地域福祉専門分科会以外に、障害者福祉専門分科会や児童福祉専門分科会等がありますよね。実はこの社会福祉の中で、高齢者とか障害者とか、様々な福祉計画がありますが、「この計画は、この対象者に対する計画」となっているわけです。ですから、その当事者のことが思い浮かべられれば、どういうニーズがあるんだろうかってことが、比較的イメージできるわけです。

ところが、地域福祉というのは言葉ではわかりやすいですが、では地域福祉が考える相手とは一体誰なのか考えると、地域に住んでいる人全部です。全部の人向けの福祉とはどういうものか、わかるようで実はわかりにくいです。

この地域福祉でやろうとしていることの最終的な効果とは、その地域が住みやすい状態になっていくことです。様々な福祉の制度がありますが、実は制度と制度の間から漏れてしまったり、或いは制度の対象者になるにはまだ状態が軽いから、なかなかその対象者にはしてもらえないことがあります。ある意味で言えば、他の制度の間を見る、みたいなのがこの地域福祉です。

そういうことを頭に浮かべながら、進捗管理と計画策定に協力していただきたいと思います。呼び名は簡単ですが、他の計画とは考える事柄が少し違うので、ぜひそういう形でご意見いただければと思います。

## 5 議事

### 【会長】

(委員の出欠状況及び会議の成立について)

- ・委員11名中、出席9名、欠席2名。運営要領第5の2の規定により会議は成立。

### (1) 地域福祉推進計画に関する事業の進行管理及び評価について

#### 【会長】

それでは次第に基づいて進行させていただきたいと思います。

議事(1) 地域福祉推進計画に関する進行管理及び評価について、担当の甲府市社会福祉協議会から、令和3年度の地域福祉推進計画の数値目標設定事業の実施状況について、説明をお願いします。

#### 【甲府市社会福祉協議会】

それでは説明をさせていただきます。

まず、事業名「ふれあい福祉体験」、施策名「地域福祉を支える人づくり」につきましては、学校や地域におきまして、車いす、白い杖、アイマスク、高齢者疑似体験セット等を活用した体験学習を通して、高齢者や障がいのある方への理解を促進する事業でございます。

また、それに関連するイベントといたしまして「ふれあい交流フェスタ」を開催しているところでございますが、それについては、別項目でご説明いたしますので、ここでは前段の部分についてご説明申し上げます。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響は少なからずあったものと考えておりますが、福祉講話の再開など学校現場での活用もあり、実績値は26件で、達成率は108.3%となり、貸出件数はコロナ禍前の水準に戻りつつあると考えております。

ちなみに令和4年度の7月までの状況ですが、今年度27件の目標値に対しまして15件というところでございます。現状、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念されるところでございますが、新学期に福祉講話などを計画する学校もあることから、令和4年度も目標値に達成することができるのではないかと期待するものであります。

利用者からの意見・要望では、「児童生徒が身体の不自由さを体験でき、障がい者や高齢者への理解を深め、思いやりの心を培う良い機会となっており、障がいのある方を招いて行う福祉講話も実感を伴って聴くことができる。」などのご意見がありました。私どもも機材の活用時には使用方法や装着方法などについて丁寧な説明を心がけておりますが、その辺の評価をいただいているのではないかと思います。

評価につきましては、やはり学校での福祉活動・教育が非常に重要だと思っております。今後も周知PRを行う中で、さらに活用を図っていきたいと思い、継続推進という評価をいたしました。

続きまして、事業名「いきいきサロン活動への支援」、施策名「人と人がつながるネットワークづくり」につきましては、住民グループ等が主体となって設置する「いきいきサロン」の設立支援と運営支援に関し、情報提供や助言等の支援を行うものです。

ここで、当日資料5をご覧ください。令和3年度は、サロン設立の相談があった13自治会及び個人7名に設立についての説明を行った結果、新たに4サロンが設立され、132サロンとなり

ました。

既存サロンへの運営支援につきましては、職員が感染防止を啓発したほか、47サロンを訪問して運営状況や課題の把握に努めると共に、コロナ禍における取組み事例を収集し、各サロンへの啓発を図りました。

また、運営財政支援をして、みずほ教育福祉財団による「老後を豊かにするボランティア活動資金」の申請や甲府市への提出書類作成支援等を行い、継続的な運営支援に努めました。

数値目標の「年間延べ参加者数」は、目標 52,500 名に対し、実績値は 32,413 名で、達成率 61.7% となりまして C 評価といたしました。目標値に達しなかった理由といたしましては、新型コロナウイルスの感染拡大が大きく影響し、年間を通して活動を自粛せざるを得ず、例年のようなサロン活動を行うことができなかったことが大きな要因と考えています。

利用者のご意見といたしましては、運営者、通いの場に対する感謝がある一方、コロナ禍によりましてやむなく活動を自粛せざるをえなくなったサロンの利用者の方から、残念がる声もありました。

この事業の効果については、国立研究機関の研究によると、要介護認定率、脳卒中発症割合、認知症リスクなどの発症割合が減少するなどの介護予防・社会参加に大変有効であるという研究結果が出ていますので、今後も継続して推進して参りたいと思います。

続きまして、事業名「小地域ネットワーク活動の支援」、施策名「人と人がつながるネットワークづくり」についてですが、見守り・声掛け、話し相手などを行う小地域ネットワーク活動の更なる定着化に向け、市社協のコミュニティソーシャルワーカー(以下「CSW」と記載する。)が、合同会議や研修会等の開催支援や情報提供等をサポートしています。

昨年度も、コロナ禍により会議の開催が減りましたが、市社協発行の「社協だより」や CSW が発行する「ブロックだより」などで、コロナ禍に配慮したゆるやかな見守りや感染拡大に配慮した活動などの紹介を行い、各地区において感染症防止に配慮しながらの取り組みが行われました。

数値目標は、合同会議及び研修会等の開催回数になりますが、目標値 160 回に対し、128 回となり、80.0% で評価 B としました。

地域の皆様からの声といたしましては、自治会長様をはじめ、民生児童委員さん、福祉推進員に見守られている安心感があると、お話をいただいているところでございます。

住民の皆様が主体となり「自分たちの地域は自分たちで良くする」をモットーに、共助の活動として更に活性化・定着化に努めて参りますので、継続推進という評価をしたところでございます。

次に、事業名「ボランティア情報ネットワークの推進」、施策名「人と人がつながるネットワークづくり」について説明をさせていただきます。目的・内容等では、ボランティア活動に関する様々な情報を収集整理する中で必要な時に活用できる体制、いわゆるコーディネートしていくことも含めまして、様々な媒体を使い情報提供を行っております。

数値目標設定につきましては、令和 2 年度からの新たな計画策定時において、対象とする団体を、これまで「ボランティアコーディネートが可能な団体」のみとしていたものを、「特定の目的活動のために、ボランティア登録しボランティア保険に加入した団体」も含むように改めたことにより、これまでの数値と比較し増えております。

令和 3 年度の実施状況でございますが、目標値 134 団体に対し、実績値は同数の 134 団体

となっております、目標に達することができました。

利用者からの意見では、「ホームページでボランティア情報を得ることができ便利である」などの意見をいただいております。

今後もSNS、広報誌等を活用する中で、ボランティア活動の公益性等について広く周知し、登録数を増やしていきたいと考えております。評価につきましては、継続推進といたしました。

続きまして、事業名「ブロックだよりの発行」、施策名「安全・安心につながる福祉情報の提供」でございます。地区社会福祉協議会が取り組む地域福祉活動や、市社協からの情報等を掲載した「ブロックぶれず」を発行することで、地域福祉に関する情報提供や意識啓発を図るものです。昨年度は、長期化するコロナ禍における様々な活動を紹介しました。内容については、「動画によるサロンの検討」や「ヤングケアラーとは」、「笑顔ふれあい訪問サポート事業の開始」等各地区社協の活動の様子を掲載しました。

数値目標は15回に対し、15回の発行で100%、A評価としました。各地区において地域の状況が違いますので、福祉課題や社会資源も異なってきます。日常生活圏域であるブロック内での他地区の取り組みや身近な福祉情報などを掲載することで、今後の活動に参考にさせていただけるよう、積極的に広報に努めて参ります。

最後に、事業名「ふれあい交流フェスタ・ボランティアウィークの開催」、施策名「安全・安心につながる福祉情報の提供」でございます。令和3年度の実施状況でございますが、コロナ禍のため令和2年度に引き続き中止といたしました。

この事業は、ボランティア活動を含め、世代を超えたボランティア同士の交流、障がい者の方、また学生を含めたそれぞれの立場を理解し合うというようなことを含めた交流フェスタということで開催してきたところでございますが、コロナ禍では障がい児や障がい者、中高生等の参加が困難であること、ワクチン接種等のために会場の確保が難しいこと、ボランティア団体の活動が思うようにできていないことなどを勘案するとともに、事業実施の中核である「甲府市ボランティア団体連絡協議会」の意見も聴く中で、昨年度に引き続き中止することといたしました。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念され、収束は依然として見通せない状況にあります。今後は感染症対策を講じるのはもちろんのこと、その中でどのような工夫をしながら開催していくかということが重要ではないかと思っておりますので、参加者数や来場者数、内容を精査し、どういう形が最善なのかということも検討し、実施に向けて取り組んでいきたいと考えております。このようなことから、継続推進という評価にさせていただきました。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

#### 【会長】

ありがとうございました。

それでは、今説明いただいた事柄に関しまして、ご質問等ありましたらお願いします。

いきいきサロンについては、例年様々な質問があるのでまとめてやった方がいいのではないかとということで、議事(2)に分けてあります。ですから、いきいきサロンについては後でまた議論していただくことにして、今はそれを除いたところで、質疑応答したいと思っておりますので、ぜひ委員の方々その点ご了承いただきたいと思っております。

では、いかがでしょうか。

【委員】

まず「ふれあい福祉体験」のところですけども、令和3年度は2年度よりも多かったということですが、私は介護の仕事しているんですけども、若い人が入社するときに、子供の頃の福祉体験がきっかけで興味を持ったという人がいます。それを思い出しながら聞いていたのですが、平成25年度から見るとおおよそ、20から30と推移していますが、要は年間これだけの数やるのが限界なのか、もっとできるのか、また増やすためには現在どういうことに取り組んでいるのか、お聞かせ願えればと思います。

あとボランティア情報ネットワーク推進のところ、ボランティア登録の今後の活性化を図るためにとありますが、ボランティア同士の交流というかですね、意見交換をしながら、ボランティアの活動の発展に向け、このような活動もされているのか、その点を聞きたいです。以上です。

【会長】

はい。ありがとうございます。

触れ合い福祉体験の件数について、数字の設定をもう少し上にできないのかとのご意見でした。あともう一つは、ボランティア情報ネットワークの推進というところで、ボランティア同士の交流等に関するご質問でしたが、いかがでしょうか。

【社会福祉協議会】

触れ合い福祉体験の福祉講話につきましては、視覚障害をお持ちの方、例えば盲導犬ユーザーの方とか、視覚障害の方で手話をしている方たちに、学校に出向いていただいて、実体験を話してもらったりしておるとでございます。令和元年度については、市内の市立小中学校19校にお伺いして、福祉講話等をさせていただいたところでございます。

私どもとしますと、1件でも多く、そういうお話をお聞きしていただく中で、いろいろ子供たちに知っていただきたいと思っております。実際市立小中学校に、福祉ボランティア実践校担当者会議がありまして、市内の市立小中学校の先生方が集まりますが、その際にも1件でも増えるようにという話をさせていただいて、やっているところでございます。

目標値の設定につきましては、前年度を上回る形の設定の仕方という形にしておるところでございます。

ボランティア間の交流というご質問については、触れ合い交流フェスタでまずボランティア同士の交流を深めてもらうという形のものが1点あります。触れ合い交流フェスタについては、ボランティアの裾野を広げていきたいと思いますという意味合いもありますけども、ボランティア同士の交流をしていただくような場もありますが、昨年度はコロナの影響でできなかったという状況でございます。

今年度のお話をさせていただきますと、いろんなものがコロナで中止になっておりましたので、様々な工夫をしながら開催できればと考えているところでございます。以上でございます。

【委員】

学校の先生たちが集まって、そこでお願いをして、依頼があってやるってことだと思うんですけど。

学校からすると、1回やったら毎年定期的にこの学年をやるとか、そういう仕組みにはなって

ないということでしょうか。

【社会福祉協議会】

説明不足ですみません。ボランティア実践校は、3年計画でひとまわりするような形をとっております。ローテーションで各学校を回っていき、小学校も中学校もやりますので、いずれかのところで、そのお子さんが触れ合うことができるという形でやっております。

実施する学年については、カリキュラムの関係もありますから学校側にお任せするところもありますので、学校ごとに学年がずれることもあります。以上でございます。

【会長】

平成25年と26年度は目標値が高くて、27年度からぐんと下げていますよね。これは現実には近づけたのか、それとも何か制度が変わったのか、それから先ほどの委員からのご質問では、20よりもっと多くできないのかというご質問もありましたが、その辺りはいかがでしょうか。

【社会福祉協議会】

目標値の設定につきましては、当時私どもボランティア振興課が、ボランティア振興係としてやっており、組織変更等が生じた時に業務分担等ある中で、実績値も勘案し、目標値を見直さしていただきました。

目標値をもっと高くしたほうがよいのでは、ということにつきましては、前年を上回るようにやっていくとしています。今後の目標値設定につきましては、今の委員さんのご意見等も考慮する中で検討させていただければと思います。以上でございます。

【会長】

ありがとうございました。ほかにはよろしいでしょうか。ないようでしたら次に進みます。

## (2) いきいきサロンについて

【会長】

それでは議事(2)のいきいきサロンについて、事務局からまず説明をお願いします。

【事務局】

いきいきサロン活動の支援は、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で社会から孤立せずに健康でいきいきと安心して生活が送れるよう、地域住民のグループ等が主体となって設置する「いきいきサロン」の周知や設立・運営に対し情報提供や助成等を行い、いきいきサロン活動が継続的に展開できるように支援する取組であります。

いきいきサロンにつきましては、これまでの事業評価においてご意見をいただいております、7月に開催いたしました全体会におきましても、ご意見、ご質問をいただき、回答させていただきました。それにつきましては、事前に郵送いたしました資料2にまとめさせていただいております。

いきいきサロンの活性化につきましては、設立数を増加させる取組と多くの方に参加していただく取組の2点が重要であると考えております。

そこで、議事2の検討資料をご用意させていただきましたので、資料についてご説明したいと



思います。

まずは、当日資料6「いきいきサロンに関するアンケート結果」をご覧ください。

こちらは、平成30年12月に当時の高齢者福祉課でいきいきサロンが未設置の351の単位自治会へアンケートを実施したものです。回答数は、239自治会で、回答率は68%でした。

最後の4ページの16番をごらんください。「貴自治会内で市社協からの相談支援を希望するか」の問に對しまして相談支援を希望するとの回答が、33件ありました。

この回答に對しまして、甲府市社会福祉協議会で各自治会へ問合せをした結果が当日資料7「平成30年度甲府市アンケート結果問合せ状況」という資料になります。内容を見ますと、サロンについての理解度が低い、運営者がいない、活動する場所がないといった悩みが聞かれました。

No.7の事例のように「未だ地域の理解が得られない状況である。」といったネガティブな状況であった地区が設立に至った事例もあるようです。反対に裏面のNo.25、26のように、前向きに検討はしているもののいまだに設立に至っていない事例もあることが分かります。

また、アンケートや社協の聞き取りでも運営者不足については課題のひとつでしたが、本市では、いきいきサロンの担い手の養成を目的に「すこやか地域サポーター養成講座」とその後の「フォローアップ研修」を実施しております。当日資料8は、その実績の資料となります。以上で説明を終わります。

#### 【会長】

議事(2)について説明が終わりました。社協さんからは、補足説明などはありませんか。

#### 【社会福祉協議会】

社会福祉協議会から今の施設について、より丁寧な説明をさせていただければと思います。

当日資料の7、「平成30年度甲府市アンケート結果問い合わせ状況」について、もう少し詳しく、我々がこのアンケートに基づきましてどういった取り組みをしたかを説明させていただければと思います。

アンケートの16番の中で、「相談支援を希望する」の結果が33地区あり、実際に32地区に伺った内容をまとめたものであります。

内容としては、自治会内におけるサロンへの理解が進んでないから開設に至らないという回答も多かったですが、そういったところには私も社協職員が、地区の自治会長さんにお話をしたり組長会議の中に出席をさせていただきまして、パンフレット等の資料を用いながら説明をしたりしまして、いきいきサロンへの理解が得られるような丁寧な説明をしてアプローチを図ったというところでございます。

その他多く寄せられた意見として運営者がいない、或いは開催する場所がないといったものがございました。運営者の不足につきましては、先ほど市からもご説明ありましたが、当日資料の8にある、すこやか地域サポーター養成講座、これでサポーターを養成し、その方には運営者になっていただきたく、これを年間15回、5つの福祉センターで、それぞれ3回ずつやって延べ15回、年間サポーター養成講座をいただきました。

そしてそのあとフォローアップ研修というのも年に1回ありまして、運営者の確保に努めているということでございます。フォローアップ研修につきまして運営者として既に活躍している方のスキルアップも含め研修をしたところでございまして、運営者の拡大を図ったところでござい

ます。

開催場所がないといった課題につきましては、自宅やマンションのロビーのほか、福祉センターや公園といった、地域の社会資源をうまく活用しながら開催しているところもあるということも紹介をしながら、サロンの設置につきましてはの後押しを行ったところでございます。

ご説明等をこの32地区でさせていただいた結果、32地区中の4地区で、新規設立となったところでございます。

サロン新規設立に繋がった事例を二つほど説明したいと思います。

一つ目が先ほどご説明いたしましたすこやか地域サポーター養成講座からサロンの設立に繋がった事例でございます。すこやか地域サポーター養成講座の修了者に対しまして、パンフレットなどを用いてサロンの新規設立及び運営支援への促しを行ったところ、運営に興味を持たれた方から、設立に向けたご相談をいただきまして、スムーズに設営に繋がったということでございます。

二つ目の例といたしましては、毎年社協では、いきいきサロン活動写真展をやっておりますが、その来場者から、サロンの設立に繋がった事例でございます。このサロンの活動写真展示中に、内容に興味を持たれた方がいらっしやいまして、その場で説明を行いました。また後日その方もいらっしやる自治会の集会に訪問して、説明の機会を設けていただき、こちらからの継続的な働きかけもありまして、新規設立に繋がったという事例でございます。

新規設立のために社協としてこういった取り組みをしているということで、具体的な活動の一端を説明させていただいたところでございます。

私ども、このいきいきサロンの利用活性化イコール地域の活性化であるとも思っておりますので、伸び悩んでいることについては、非常に残念でございます。

ただし今年度は、サロンで新しく行うネタを甲府市の社協から新たに提供して、楽しく参加していただけるようにしたり、ボランティアで参加してもらうような仕組みを考えたりして、活性化に努めて参りたいと考えているところでございます。

また自治会連合会様におかれまして今年度事業計画の中に、いきいきサロン普及啓発を位置付けていただいているというお話を伺いました。大変ありがたく心強く思っているところでございます。各地区自治会のご協力を得ながら、私たち社協職員も甲府市福祉保健部の指導のもとに頑張りたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。以上です。

#### 【会長】

はい。どうもありがとうございました。

市と社協とどちらからも、今日配られた資料を中心にして、サロンのてこ入れを実際どういうふうにしていくのか、そのためにやっているそれぞれの活動を説明していただきましたが、この点は、もっとこういうふうにしたらどうかなど、ご意見ご質問いただきたいと思っております。いかがでしょうか。

#### 【委員】

私もこの問題についてはいつも心苦しく思っています。515ある自治会の中で、自治会長が毎年半分以上変わりますが、そういう中で本当にこのことが引き継ぎされているのかというと、ほとんど引き継ぎがされていないと聞きます。

自治連の福祉委員会でも一生懸命やっていますけれど、社協の方が出向いて各自治会の会議の中で説明することが非常に大事だなと思いますが、そういったことができるのかお聞きしたい。

【社会福祉協議会】

このアンケートはもう4年ほど前のものですので、各自治会の様子も変わっていると思います。515の自治会全部に入るのはなかなか大変ですけども、新たにアンケートをとり、前向きなところに社協が積極的に入っていきまして、設立につなげる体制がとれば良いのではと思っております。

また、今年はケアマネさんへの学習会をさせていただき、介護予防に繋がる手法としていきいきサロンもあるという周知を行い、介護保険事業の方へもアプローチをしているところであります。多方面からいきいきサロンへの意識づけといたしますか、活性化に向けた取り組みをしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

【委員】

自治会だけでなく、実際サロンをやっていない地域の団体、例えばシニアクラブとかにも、そうした働きかけをしてもらえるとありがたいと思います。

自治会連合会としてもやりますが、社協の方たちもぜひ協力していただきたいと思っております。

【会長】

はい。ありがとうございます。

やりたいと言って手を挙げる地域ではなく、やろうとしてないところに、むしろ別のルートから入り方を探らないのかという、ご意見でした。市は色々と繋がりを持っていますので、この地区だったらこの人に話を持っていくとよいのではないかと、共有していただき、そうすることで比較的入りやすくなると思います。

今までとは違うチャンネルからアプローチするのは少し面倒だと思いますが、今の委員のご発言はすごく重要だと思いますので、ぜひ参考にさせていただければと思っておりました。

【委員】

私の住む町内でも、何とかいきいきサロンをやろうじゃないかということで、いきいきサロン活動をできる会場は作りました。しかし、トップに立っていきいきサロンを運営しようという人がなかなかおらず、トップを決めて、こんな組織で作ら上げましょうというところまでいきません。

やりたい気持ちはあると思うのですが、いきいきサロン設立までのノウハウみたいなものがないので困っているわけです。

【会長】

今日はそういう悩みも含めて議論していきましょう。地域福祉は地域の状況がそれぞれ違うので、それをどうするかという決まった作法があるわけじゃないんですよね。

【委員】

毎月連合会の理事会があります。そこで議題としますから、「いきいきサロンをやっていないところへ私もが行きます。」と言うぐらいのことをやっていかないと、前へ進めないと思います。頭下げろとは言いませんが、やっぱりお願いをするということをやっていたきたい。

【社会福祉協議会】

私も社協といたしましてそういったお声掛けが非常にありがたいので、積極的に各地区に出向いてご説明に行ったり、ご紹介をさせていただきたいと思いますのでまたそういった地区がありましたら、声かけをいただきたい。

【委員】

そうではなくて、自治連の会議の議題にするので、そのような場で説明をしていただきたいと思います。そういうことも積極的に的やっていたきたい。

【社会福祉協議会】

ありがとうございます。理事会という大きなところにも当然行きますけども、細かく地区に入って説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【委員】

福祉委員会で一生懸命やっているが、前に進めなくて本当に困っている。議題としてやりますから1回持ち上げてくれませんか。

【委員】

ちょっとよろしいでしょうか。単純に考えて、そんなに困っている事業をまだ続けるってことでしょうか。

今、世代がだんだん違ってきて、例えば私たちも高齢者ですけども、もう自分たちのような高齢者って、いきいきサロンに頼らなくても、まだ自分たちで車が運転できる、どこかでみんなで楽しいことができるってということで、あまりいきいきサロンに重きを置いてないんですね。

私、今まで話を聞いて、そんなに困っている状況を、解決ができるのか疑問に思いました。

私もいきいきサロンの立ち上げ者だったんですが、私たちがいきいきサロンを始めたときは、まだ戦争中のことを話したりとか、車がないから、レンタカーを借りてどこか行くってことはできてたんです。でもその高齢者さんたちが、今、ほとんどデイサービスへ行っていますし、あるいは、富士川地区外のところの子どもたちのところへ行っているなどして、現実には本当の高齢者がいなくなっているんですね。そういった状況中で、皆さん困っているわけですが、困っている原因は何なのですか。

【会長】

市の方で、説明をお願いできますか。

【福祉保健部長】

ただいまのご質問の中で、まず本日お配りさせていただきました当日資料 6 をご覧いただきたいと思います。

平成 30 年の時のアンケート、1 ページ目の 4 番、「現在いきいきサロンが、その単位自治会にはありませんが、あったら良いと思いますか。」という問いに対しまして、「あったら良いと思う」と答えた自治会が 105 ありました。

或いは今委員さんがおっしゃったように、3 ページ目、9 番「サロンが無くてはよいとお考えですか。」という質問に対する回答として、「既にサロンの役割を果たしているものがある。」も多いです。デイサービスではない、元気な高齢者が通える場があるということについては、今後の介護予防にもなり、非常に重要なものであると考えております。その一つとして、このいきいきサロンというものがあまして、全国社会福祉協議会がこのサロン活動を進めていきたいと思います。この部分の中で、甲府市においては、平成 22 年からスタートをしている事業でございます。

その中で、当初設立としては、どんどん数が伸びてきたのですが、その後いろんな事情が発生し、いろんな事情とは、当日資料 7 で、担い手、リーダーになる方、或いは場所の問題という部分がございます、これを解決すべくというもので、当日資料 8 の、すこやか地域サポーター養成講座を市社協さんの方で行っていただいております。

今の委員さんのご質問の中で、サロンが何を求められているんですかという部分の回答としては、今の通り、アンケートの 4 番、「あったら良いと思う」というところが 105 あると。今できてないけれども、必要だと思っているところが 105 の自治会があるということをお考えますと、やはりこのサロンの重要性、通いの場の重要性というのは、各自治会の方で課題として考えていらっしゃるなど。そのような中で、甲府市と社会福祉協議会、或いは自治会連合会も本当に積極的に協力をしていただきまして、また、シニアクラブにおきまして、取り組んでいるという状況でございます。

必要性については、また新たなアンケートをとりまして、考えていきたいと思っております。説明については以上でございます。

【委員】

このアンケートはどなたにとったものですか。

【福祉保健部長】

サロンを設立していない自治会に対してアンケートをとったものでございます。

【会長】

まさに、他のことがあるから、このいきいきサロンがいらぬのではないかと話です。実は私は甲州市民なのですが、本当に田舎のところに住んでいて、そこだとこんないきいきサロンを作ろうなんて誰も思わないです。みんなしょっちゅう行き来しているし、独居の人もいますが、しょっちゅう見回りに行って、もう情報がわかっていますので。だから、おっしゃる通り地域によっては、そういうものがなくたって別に困らないのではないかとするのは、事実です。

ただ甲府市の場合には、おそらく今後増えていくのは、いわゆる独居老人の方で、自分から自主的に動ける人はいいですが、そうではない人が増えていった時に、どういう活動がいいのかと

いうと、こういうサロン活動が、ハードルが低くて、みんなが集まりやすいのではないかというのがベースにあります。

そういうことが全く必要ない地域が本当に甲府市の中にあるならばいいですが、やっぱりそういうことが必要なのではないかという地域があって、ではどうしようっていうのが今の議論になっています。

おっしゃる通り、それがなくなると困らないところはあります。でも、まだそうはなってないところがあるというのが、この活動を進めようとしている意図です。

#### 【委員】

私はいきいきサロンの運営委員になってやっていますが、地域の人たちの意識が足りないのではないかと思います。なぜいきいきサロンがあるのか、このいきいきサロンの目的を、みんな理解できてない。

私はみんなに説明するんです。今災害が多くて、今何かが起きたとき体育館に集まったら、隣に座っている人が嫌いな人だったり、知らない人だったらどうするのと。1日そこにいなきゃいけないんだよって。

そこに、自分の知っている人、どこの誰か知っている人がそばにいればすごい心強いんですよ。それがいない人たちが、避難所に集まって、1日で暮らすって大変なんですよ。それを一生懸命説明するんです。そのためにも、いきいきサロンがあるんですよって皆に言うのですが、なかなか集まってくれない。

それで私も、年を取った人ばかり集まってもしょうがないと思って、年齢制限のない『えんがわクラブ』を始めました。『えんがわクラブ』を始めても集まるメンバーは同じ人で、来ない人は絶対来ないし、来る人は必ず来る。ここのところを何とかしたいと思うんです。だから毎月回覧板を回しています。こんなことをやっていますと回覧板を回していますが、やることのネタができてきたり、人材も足りなかったりするんです。

ここで、ちょっとお願いしたいのが、近くの小地域で良いので、その先頭に立っている人たちや、いきいきサロンのメンバーの人たちの交流会を、開けばいいかなと思うんです。「うちの地区では歌がうまい人がいるのよ。」「うちは踊りがうまい人がいるのよ。」そういう人達を交流させて、貸しっこして、魅力のある会をつくれたらいいなと思っています。

先頭に立つ人は若い人でないと大変ですので、若い人をおだてて盛り上げて、その人に支援者になってもらい、地域同士の交流をやって、魅力のあるいきいきサロンを作り上げたらどうかって、いつも思っています。自分が思っているだけで、思うようにならなくて困っているんですけどね。何とかそういうふうを考えていただけたらと思っています。

#### 【会長】

ありがとうございました。サロン同士の交流みたいなことを、おそらく社協でも仕掛けていたりもするのでしょうか。情報交換や人同士の交流など、何かやっていたら教えてください。

#### 【社会福祉協議会】

人同士の交流はないのですが、『ブロックふれず』というブロックごとにサロンの情報等を交換するような紙面を作って配布をしております。その中で、隣の地区ではこんなサロンを作ってい

るよと情報提供させていただいております。

交流会についてですが、コロナ禍で人が集まることは難しいかもしれませんが、できるかどうか検討しますので、知恵を出し合っているサロンの情報交換であったり困りごとであったりを、ぶつけ合うようなそんな場を作れば良いと思います。

#### 【社会福祉協議会】

いきいきサロンの活動の活性化に関して、ボランティア振興課の方で、登録ボランティアさんでマッチングをしております、現実、いきいきサロンの方でもご利用いただいております。健康体操とか、音楽系のものなど、サロンでやることのネタとして対応できるものもありますので、またそちらも考慮していただければと思います。

#### 【会長】

ありがとうございました。自由に議論したいと思いますので、思うように、ご意見いただきたいと思います。

#### 【委員】

私は組長をしまして、自治会活動に参加しています。

皆さんを自治会で集めるときに、いきいきサロンはどうですかと実際聞いてみました。そして「うちはものすごく一生懸命やっているよ」なんていう話を聞いて、生き生きしているなという印象を受けています。

どうやって増やすとか、なかなか難しいかもしれないですが、やはり何かをやるっていう時には勇気が要ると思うので、こうやってくださいではなくて、例えば社協さんの方で、お話し会みたいなことをやって良さを知ってもらい、徐々に引き継いでいくやり方や、活性化している自治会の人をお願いをして、会で話をしてもらおうとか。

先ほど話も出しましたが、紙や説明とかだとやっぱり見にくいところがあるので、今実際に活動している人たちの声を実際に聞く機会、実際に体験してもらう機会を設けることで、地道に広がっていくのではないかと感じました。以上です。

#### 【会長】

高齢者が集まる講座とかで、そういうところに他のところから来てもらってですね、こういうことやっているよと紹介していただくと、本当にやりやすくなるっていうのは、私も見ています。

甲府市でも、こういうことをやれるんじゃないかっていう案を出していただいて、それを全部やりなさいってことではなくて、できるものやっっていくのが重要だと思うので、ぜひここに参加されている方こんなふうにしたらいんじゃないかっていうご意見をいただくと、すごくいいと思うのですが、他にはいかがでしょうか。

#### 【委員】

いろんな意見がありましたけれども、例えば地域で防災がありますよね。防災はやっぱりお年寄りのことを中心にみんなで話し合いますよね。

シニアクラブでも、私もやっていましたが、結局いきいきサロンさんと同じようなことするんですね。となると、本当に単純な質問で申し訳ないですけど、いきいきサロン独自のものとは、実際なんなのでしょうか。

【福祉保健部長】

先ほど申した通りいきいきサロンは、甲府市においては、平成22年にスタートをしております。一定の期間が過ぎておりますので、その役割というものも大分変わってきております。スタートの時点では、今後増えていく独居の高齢者を含めまして、ひきこもり防止という目的からスタートをしております。

その中で、大分変わってきたところにおいては、先ほど委員さんの方からお話のありました、人と人との繋がりであったり、サロンの一定数が、体操を取り入れたりと介護予防をやっているところもございます。

これは各サロンにおいて、このようなことをやっていきたいと思います、それとともに、全く同じことをやっている、やはりマンネリ化という部分の中で、いろんな活動をやって、高齢者が生き生きとその地域で暮らすことができるという形のサロンになっております。

その役割というものについては、地域ごと、或いはサロンごとに多少の違いというものはございますけれども、大きな目的といたしましては、その地域に住む高齢者の方が、その地域でいきいきと暮らしていただける、そんな活動というもので大きな括りとなっております。サロンの役割としては、そのような説明でご理解いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【委員】

主に独居の老人を対象にしている？

【福祉保健部長】

はい。スタート時点といたしましては、引きこもり防止ということの中で、お一人暮らしの高齢者や、或いは高齢者のみの世帯を対象にスタートをしているところでございますけれども、先ほど申しました通り、その方だけではなくて、地域の高齢者すべてが参加できると言った形で、今活動をしているところでございます。

【会長】

はい。最初にも言いましたが、地域福祉ってその地域ごとに課題が違うんですよね。だから、この地域だったらどういうサロンが必要なのかっていうのは、誰が決めるわけでもないんですけども、こういうサロンやこういう活動があるといいよねっていうことは、地域ごとにしかわかんないです。

ですから、そういう意味では、何が問題なんですかって言われると、それがあつかうかがまらず問題です。甲府市の場合は、何も無いところはないんじゃないかっていうのが、現状なのかなと思います。

【委員】

いきいきサロンの最初の出発時点は部長もおっしゃっていましたが、いわゆる自治会を卒業し



て、シニアクラブも卒業したような人たちが、一人暮らしで引きこもりになってしまわないように、呼び込んで、みんながいろんな利益を受けながら、より一層健康にいられるようにするにはどうするんだってというのが、始まりですよね。いろんな事業をやって何年か経って、一緒な部分もあることが分かってきたことによって、作るのが難しくなってきたのかなという気がします。

#### 【会長】

はい、ありがとうございます。

むしろ今は地域でお互いの顔もわからないかもしれない繋がりになっているので、それを少しでも解消できる1手法というか、自主団みたいな位置付けにも徐々になってきます。そういう意味では、年齢とか一切とっぱらってしまえという考え方も実は出てきています。

ただそれは、いろんな助成状況からすると少し難しく、そこまで認めてしまっているのか、ということはあるかもしれません。ただ現状としては、やっぱりもともとの趣旨から少しずつ変化して、人と人とをつなげるための1手段みたいな、徐々にそういう部分もすごく強まっているのが実態です、

他にいかがでしょうか。大体意見が出尽くしているのであれば、実はこの委員会は、今後計画を作る委員会にもなってきますので、今日はそのために、みんなですべて学習しておく時間を取った方がいいだろうということで、事務局とも相談して、いきいきサロンを一つの議題にしてみました。

むしろお互いいろんな考えが出た方がいいので、別にその考え方にみんな浴わなければいけないってことはないですので、ぜひいろんなご意見を聞きながらですね、この問題を考えて、最初にも言ったように、やっぱり地域福祉というのは、地域が本当に安心できる場所だよっていうふうにすることが目的なので、本当にそうなっているところだったら、これもなくなつてできるんですよ。だけど、今そういうふうにいえる地域って甲府市の中でも非常に少ないと思うんですよ。だからこういうことを計画していきましょってことなので、この1事業に限らずいろんな形で、甲府市が、いわゆる健康都市宣言している健康なまちを作っていこうとなっていくと思います。

#### 【委員】

今日は、いきいきサロンに特化して、多くの議論をして、貴重なご意見もいただきました。私はいきいきサロンは非常に大事な事業だなというふうに思っております。

会長さんのお住まいの地域のような状況というのは、昔は甲府市内のいろんなところあったと思うんですよ。地域の人達の交流、地域コミュニティーが、ある程度きちんとしていたという状態だったと思うんです。今はなかなかそんな状態ではなくなってきてしまいました。そういう中でやはり高齢者の皆さんと一緒に集まって、いろんな話をしたり、大きな声で笑ったりして、人間関係を作っていくことが非常に大事だと思っております。

地域のケアマネさんの話を聞いてみると、高齢者の認知症が増えてきているという話を聞きます。その原因の一つは、なかなか外に出られない、集まりの場所に行けないということであるようです。だからいきいきサロンには、大変効用があると思っております。医学的にも、大きい声で、みんなですべて笑うことは、健康的にも非常に良いと言われています。

しっかりといろんなご意見を受けとめながら、社協としても、市と連携をしながら、しっかりこれから取り組んでいかなければならないと思っております。

このような事業を進めていくには、自治会とかシニアクラブとか、いろんな団体の皆さん方のご理解、ご協力いただくということも非常に大事だと思っております。社協としても、団体の方々に積極的にいろんな説明をさせていただきますし、これからも一生懸命、取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力よろしく願いいたします。ありがとうございます。

#### 【会長】

本当にいろんなご意見ありがとうございました。こういう形で、今後も会議を進めていきたいと思っておりますので、ぜひ遠慮なさらず、自分の考えは自分の考えとして、おっしゃっていただきたいです。そうすることでお互いに気づけなかったことに気づいてきますので、ぜひそれをお願いしたいなと思っております。

それではこれで議事を終了させていただきます。委員の方々、ご協力いただき本当にありがとうございました。

#### 【事務局】

丸山会長ありがとうございました。

それでは以上をもちまして、令和4年度甲府市社会福祉審議会第1回地域福祉専門分科会を終了いたします。なお第2回の専門分科会につきましては、来年1月ごろの開催を予定しております。別途通知をいたしますので、よろしくお願いいたします。

本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。

## 6 閉会